

JACS

NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第27巻第3号

発行日●2019年9月17日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第59回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

文化と消費者行動・マーケティング

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。
第1日目には、JACS－樫尾俊雄 論文プロポーザル賞、自由論題報告、会員総会、懇親会を予定しています。第2日目には、統一論題を予定しています。

－開催概要－

開催日程： 2019年10月26日（土）・27日（日）
会場： 神戸学院大学 ポートアイランド・キャンパス（兵庫県神戸市）
研究会参加費： 4,000円〔学生：2,000円〕
※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。
懇親会参加費： 5,000円
参加申込： JACS Web サイト (<http://www.jacs.gr.jp/>)、FAX で受け付けております。
参加申込締切： 10月11日（金）必着

※時節柄、開催地周辺にて宿泊をご予定の際は、早めのご予約をお勧めいたします。

〔第1日目〕		〔第2日目〕	
9:30 - 9:40	開会の辞	10:00 - 12:20	統一論題 講演
9:40 - 11:40	JACS－樫尾俊雄 論文プロポーザル賞	12:20 - 13:30	昼食休憩
		13:30 - 15:10	統一論題 パネルディスカッション
11:40 - 13:10	昼食休憩（役員会）		
13:10 - 14:25	自由論題報告	15:10 - 15:20	閉会の辞
14:25 - 14:40	休憩		
14:40 - 15:40	自由論題報告		
15:40 - 16:00	休憩		
16:00 - 17:00	会員総会		
17:00 - 17:45	選挙		
18:00 - 20:00	懇親会		

—統一論題—

「文化と消費者行動・マーケティング」

三浦俊彦（中央大学）

今回は、「文化」やその一構成要素としての「消費文化」が、消費者行動やマーケティングにどのような影響を与えるのか、その仕組みについて考えたいと思います。

文化（culture）という用語は、18世紀後半に欧米で使われだし、英米仏の文化人類学、社会学では、高度な理念的所産から日常的な行動様式までを含むものとして捉えられました（宮島 1993）。Tylor（1871）、Boas（1911）、Malinowski（1944）、Durkheim（1895）、Mauss（1968）、Bourdieu（1979）、Lévi-Strauss（1949）などの先行研究を踏まえると、文化は、a.人々の生活全般に関わり、b.人間が学習・創造したもので、c.特定社会・集団で共有され、d.人間行動を規定し、e.文化間で相対的なもの、とまとめられます。

一方、消費文化とは、消費分野に関わる文化であり、①消費文化論（Baudrillard 1970, Barthes 1967, Douglas 1979, etc.）の勃興の後、②ポストモダン消費者行動研究（Hirshman & Holbrook 1982, Schmitt 1999, etc.）が流行し、現在の③CCT研究（cf. Arnould & Thompson 2005）に続いています。

これら文化および消費文化の分析枠組みとしては、記号論、文化記号論が主流と考えられます。すなわち、製品やサービス、またその消費者行動の持つ「意味」を分析します。

ただ、ここで考えたいのが、「文化」概念の持つ、持続性という内包（特徴）です。タピオカ飲料の流行は文化とは呼べませんが、コカコーラの飲用行動は、文化（アメリカ文化）となっています。文化の構造を分析すると、底辺に価値があり、それが行為を規定し、行為が一定の規則性・構造をもつ制度（慣習・道徳・法）になってはじめて「文化」となります。制度として持続していくためには、サンクション（罰則・

報酬）が必要です。つまり、一過性の流行でなく、文化として根付いていくためには、何らかの仕組みが必要だと考えられます。

もう一つ考えたい点が、いかに文化を創造するかです。文化の創造とは、意味（価値）の創造であるので、燃費の良い車を作ったり、クロック周波数の速いCPUを作るのとは、難しさが違います。客観的に共有された優劣の基準がないところで、いかに市場から受け入れられる新たな意味（価値）を創造するのか。マーケティング的にも非常に重要なテーマです。

これらを含め、多様で重層的な論点を含む文化について、今回は多彩な論客にご登壇頂きます。まず、加賀野井秀一先生（中央大学）はソシユールをはじめ言語学のプロとして、モノやコトや現在の消費文化が記号としていかに読み解かれていくかを分析して頂きます。次に、中西教夫先生（文化学園大学）は、かつてパリの Kenzo で Kenzo femme のデザインを担当されたプロのデザイナーとして、一過性の流行に終わらないファッションと文化の関係を読み解いて頂きます。そして、松井剛先生（一橋大学）は、ことばやマンガや消費文化のプロとして、ことばなどが消費文化に与える影響について分析頂きます。最後に、米澤泉先生（甲南女子大学）は、ファッション文化、化粧文化、女子文化のプロとして、社会学の視点からそれら消費文化を分析頂きます。午後のパネルは、4先生のお話から素敵な化学反応が起こるような melting pot（古いですが。。。）にできればと思っています。

多くの会員の皆様にご参加頂き、文化の仕組みやその創造の戦略について、実りある議論ができることを願っております。

2019 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので、会員の皆様におかれましては是非とも奮ってご応募ください。申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mail にてご応募ください。

●E-mail 記載事項：

- ① 申請者および発表者全員の氏名（少なくとも 1 名が会員であれば応募可能です）
- ② 申請者および発表者全員の所属先
- ③ 発表学会名
- ④ 発表時期（来年度の発表も応募可能です）
- ⑤ 発表論題

●E-mail 宛先：

jacs@asas-mail.jp（日本消費者行動研究学会 事務局宛）

●E-mail 件名：

「JACS 国際学会派遣助成申請_申請者氏名」と記してください。

【応募締切】

2019 年 9 月 29 日（日）

【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2019 年 10 月下旬（10/30 頃）に採否について、事務局より連絡いたします。

【採択者の義務】

1. 派遣報告書の提出：

派遣後 3 か月以内に、報告要旨と報告したときのコンファレンス状況などを「5,000 字程度」でわかりやすくまとめて頂き、「国際学会派遣報告書」として事務局宛に提出してください。提出された報告書は、本学会のホームページならびに『消費者行動研究』誌に掲載致します。

2. その他の提出書類：

報告後 1 か月以内に、採択者の氏名が記載された「(1)派遣された学会のプログラム」、「(2)助成内容 1：渡航費が明記された書類（注）」、「(3)助成内容 2：英文校閲費の領収書」のすべてを事務局宛に提出してください。

（※注：e チケットの控えまたはそれに準ずるもの、PDF 等のソフトコピーでも可）

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なお、ホームページからご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学術会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学術会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●

(事務局) 同志社大学 商学部 高橋広行研究室
〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
Email: jacs.assist@gmail.com

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas-mail.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>